

事業名	山梨県スポーツレクリエーション祭実行委員会助成費		
細事業名	山梨県スポーツ・レクリエーション祭開催事業費	財務コード	163501
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康 課	生涯スポーツ 担当 (内線) 8413

## 事業の概要

実施期間	始期 H1 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(山梨スポーツ・レクリエーション祭山梨県実行委員会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民	交流を深めながら、気軽に参加し、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができる	生涯スポーツの振興及び健康の保持増進、体力の向上
事業の内容 主にH25年度	<p>事業概要 昭和63年に本県から始まった「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」を記念して、県民が交流を深めながら、気軽に参加し、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、山梨県スポーツ・レクリエーション祭を開催している。 また、これらを円滑に実施するため、関係機関、団体と密接な連携を図りながら事業を行った。</p> <p>近年の実績 平成23年度 会場:10市町, 種目:19種目2協賛種目, 参加選手:5,327人 平成24年度 会場:10市町, 種目:19種目2協賛種目, 参加選手:5,092人 平成25年度 会場:10市町, 種目:19種目2協賛種目, 参加選手:5,092人</p> <p>協賛種目 車いすマラソン 武術太極拳</p>		
根拠法令等	スポーツ基本法、山梨県スポーツ・レクリエーション祭山梨県実行委員会事業費補助金交付要綱		

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	24年度	25年度		26年度	27年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	開催種目	19種目 (2協賛種目)	19種目 (2協賛種目)	19種目 (2協賛種目)	19種目 (2協賛種目)	19種目 (2協賛種目)	目標設定の考え方 前年度の目標値とする。
	市町村数	10市町村	10市町村	10市町村	10市町村	10市町村	データの出典等 予算見積書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%			
成果指標	参加人数	5,092人	5,500人	5,092人	5,500人	5,500人	目標設定の考え方 スポーツイベントに参加することにより、生涯スポーツの振興に結びつけることを目的としていることから、前年度実績を上回る参加人数を目標とした。
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			92.6 %			データの出典等 事業報告書
	決算額又は予算額 (千円) うち一財額	4,650 4,650		4,167 4,167	4,239 4,239	4,239 4,239	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	128 時間		128 時間	128 時間	128 時間		
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間計	128 時間		128 時間	128 時間	128 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	262		262	262	262		

## これまでの事業の見直し・改善状況

平成20年度から参加料を参加選手の自己負担とした。

**活動量と成果の判断(平成25年度の業績評価)**

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定		活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H25年度活動指標の達成率	活動量に係る一次評価	予定した事業はすべて実施されており、目標どおりの活動量がある。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)    b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)    c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定		成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H25年度成果指標の達成率	成果に係る一次評価	市町村合併によるチーム数削減や、種目の多くが団体競技であることから、選手一人の欠席がチームの不参加につながるケースがあり、参加者数の増減に大きく関わっているが、目標5,500人のところ5,092人の参加(92.6%)であり意図した成果はほぼ上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)    b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)    c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)    d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

**見直しの必要性(平成27年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成    b: 新たな課題への対応    c: 対象の変化    d: ニーズの変化    e: 法律・制度の改正    f: 民間等実施    g: 市町村等へ移管    h: 外部委託  
i: 経費節減    j: 類似事業と統合・連携    k: 所要時間の縮減    l: プロセスの改善    m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

**見直しの方角(平成27年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方角	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方角」が異なる場合は、その理由も記載すること
現行どおり	

・見直しの方角は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること